

東京都台東区立朝倉彫塑館

指定管理者の名称 公益財団法人 台東区芸術文化財団
所管部課 文化産業観光部 文化振興課

評価委員会による評価

1 評価の観点

「評価の観点」(1)～(4)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

「委員のコメント」及び「評価委員会から区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

(1) 事業の運営

委員会の評価	A	(【参考】区の評価：A)
--------	---	--------------

委員のコメント

良い点
<p>この館自体がすばらしく、下町の喧噪から抜け出たような心地にさせられるすてきな空間である。加えて、細かな建築技術が尽くされており、大きな魅力となっている。</p> <p>屋上庭園に朝倉がやっていたように菜園を作り、子供たちに開放したりするなど、本館独自の取り組みも見られた。</p> <p>新たなグッズの作成と販売にも積極的に取り組んでおり、利用者から好評を得ている。</p> <p>施設の特性によって、リピート入館者の見込める施設であり、その点を考慮した年間パスポートの発行等、運営に工夫をされており、またその実績も好調であった。</p> <p>特別展を年2回実施している。現在実施されている「父娘3人展」の企画も素晴らしい。</p> <p>「建築の楽しみ方」、「ブロンズ作品が出来るまで」など、適切な解説のリーフレットが発行されていて良い。</p> <p>地元の子供たちのキッズサポーター制度も良い。</p>

改善すべき点

館内はスリッパではなく靴下で観覧するというのも理解できるが、床板からくる冷えは避けがたく、その対策としてのカーペットも、全体の調和を考えた上で選ばれた色や素材で考えてほしい。

グッズ売り場は、とってつけた感じで残念。

展示物、建物、庭など、環境からして、もう少しリピーターが多くても良さそうなものだが、その理由を分析する必要がある。

入館者数がリニューアルオープンした前年実績と比較して下回った。今一度入館者数の拡大に取り組んでもらいたい。

その他

アトリエや居住空間だった場所を見せつつ、そこに展示を行う、というのが難しい点かもしれないが、全体的に、なにかもう一つ、朝倉彫塑館や朝倉作品、あの空間への思いが感じられなかった。せっかくの空間を生かし、ぜひ、リピーターを増やせるような努力をしていただきたい。

ギャラリートークは第3水曜日だけではなく、若い世代、働いている世代のため、月に一度は土日で開催してはどうか。

谷中銀座商店街のランドマークともなっている「夕焼けだんだん」からほど近い場所にあるということ。夕焼けだんだんに向かう道から左折してすぐのところにあっただけだが、施設目的でない通行客の誘導に、当施設の運営面の弱みがあるかも知れない。

(2) 施設の維持管理

委員会の評価

A

(【参考】区の評価：A)

委員のコメント

良い点

古い邸宅・庭とアトリエなので、維持・管理の困難は想像するに余りある。スタッフが地道に掃除をし、「家」の持久力を高めるべく努力している点は評価したい。

樹木による近隣住民のプライバシーの保護含めて、適切なケアがされており、大きく評価したい。

施設入り口周辺、施設館内の清掃や、庭園内の樹木や池の錦鯉、屋上の草花、庭園菜園の野菜等、困難な生き物相手の維持管理も行き届いていた。

改善すべき点

リニューアルされているとはいえ、やはり、古さが目立つ。特にアトリエ。現代の技術と素材では修復不可能なものもあるので致し方ない部分はあるが、古さも魅力になり得るはず。全体的にもう少し大事にしている雰囲気があるところ。施設の維持のためにも週休二日にしているとのことだが、もっとはっきりわかるように告知しておく必要がある。また、週休二日がいいのか、入館者の少ない季節に長期の休館日を設ける方がいいのかなど、多角的に検討をしてほしい。

その他

自然光の中で作品を見られる場所も、日差しの強い日本にはあまりないが、電気の照明で見るのとは違う魅力がある。展示や維持には困難が伴うと思われるが、自然光で見ることの魅力をもう少し積極的にアピールしてもいいと思う。がんばっていただきたい。

長くいて、気持ちの良い施設であり、知り合いを連れてまた来たいと思える施設である。この環境をこれからも長く維持してほしい。

屋上の菜園・植栽が行われていた。朝倉文夫の時代から続いており、朝倉文夫の精神が現代へ引き継がれていることが伝わってくる。

(3) 利用者の満足度

委員会の評価

A

(【参考】区の評価：A)

委員のコメント

良い点

朝倉が自分で設計した邸宅や庭、あたりが一望できる屋上など、施設が持っている潜在能力が高く、満足できる。

入館者への学芸員によるギャラリートークや、館内の作品や建物の説明に力を入れており、サービスレベルの高さを感じる。

関係イベントも適宜実施されており、彫刻のみならず、建築や日本庭園に関心のある人々にとって「心惹かれる施設」となっている。

「建築の楽しみ方」、「ブロンズ作品ができるまで」の解説など、充実した内容のリーフレットがあり良い。また、入館者用靴袋がおしゃれで良い。

台東区観光ボランティアガイドの研修会を本館で実施した。学芸員の説明も丁寧で分かりやすく、とても好評だった。

改善すべき点

アンケート回収率が低く、また、質問項目も年齢や性別、居住地などの入館者の基本情報であり、サービス改善につながる内容についての問いに乏しい。アンケートの設置場所や内容を再検討し、利用者の声を運営に役立てられるような工夫が必要。例えば、「来館のきっかけ」の問いでは「その他」が圧倒的に多いので、その内訳を整理・分析することで、効果的な広報のヒントとなるのではないかと思う。また、入館者に外国人もいるので、外国語のアンケートも必要になってくる。紙によるものでなければ、SNSを使ったアンケートも効果的かも知れない。

専門家であれば、建築、工芸技術の素晴らしさや、今では入手困難な素材など、一目でわかるかもしれないが、一般の入館者や子供にも分かる説明があると良い。

日暮里駅からの案内板を目につきやすいところに多数設置してほしい。

特別休館日がすぐに分からないので、ホームページ上のトップページで分かるよう、休館日の日程を掲載してほしい。

その他

台東区で、長らく生活を営んで来た地元住民である私の配偶者によると、リニューアル前から本館の心証は良いとのこと。もっと早く来ればよかったと思っている。

(4) 収入支出

委員会の評価	A	(【参考】区の評価：A)
--------	---	--------------

委員のコメント

良い点

予算、決算の状況においては、適正な予算執行に取り組まれており、指定管理者としての経理が適切になされている。また、本館のグッズ販売についても堅調である。

改善すべき点

グッズ売り場の位置、配置などを工夫することで売り上げ増が見込まれると思う。

2 総合評価

総合評価は、6 ページに示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価	妥当	（【参考】区の評価：妥当）
--------	-----------	---------------

委員のコメント

入館者数は今くらいの方が施設の維持や運営側の人的オペレーションにとっては良いのかもしれないが、多くの方に本館を知ってもらうためにもアクセス誘導のための工夫が欲しいところである。

古い建築物を手入れし、あまり有利でない立地条件の中、年間多くの入館者があるところが評価できる。新たな入館者増に向けて、谷中地区の観光客を「朝倉彫塑館」に誘導する仕掛けが重要だと思う。

朝倉彫塑館という、せっかくの素材をうまく生かし切れていないのではないかという点と、アンケートや、利用者の声などを生かし、改善に努めていこうという姿勢があまり見られない点が気になった。

3 評価委員会から区への意見

委員のコメント

アクセス誘導については、本館の標識等を荒川区内に設置することが有効であると考え。行政区外との折衝も必要となるが、可能であれば予算化してぜひ改善してもらいたい。

館内の壁面の素材が、今後入手困難な素材とのこと。今後のメンテナンスの方法等について、文化施設の保護の見地より、他官庁関係部門との連携のもと、具体的対応策を検討されたい。

小中学生の来館者が少ない。教育委員会が発行している「台東区・歴史文化テキスト」にも朝倉文夫は大きく取り上げられている。中学生の来館者が増えるように、区内の中学校に働きかけをしてほしい。

台東区には朝倉彫塑館所蔵作品以外にも滝廉太郎像、佐藤慶太郎像、大村西崖先生像、石川光明先生像、翼の像(上野駅)、雲(浅草寺)など朝倉作品が多くあるので、そういった紹介を含めた、新しいリーフレットを作り、観光資源として利用してもらいたい。

老朽化している邸宅と庭園で、「彫塑」というきわめて凝った物があるという維持困難な施設だが、それに見合う魅力はある。限界はあるとは思いますが、経費縮減という観点だけでなく、区は建物や環境維持のための必要なサポートをお願いしたい。

施設名称	〔6〕 東京都台東区立朝倉彫塑館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設5箇所					
(3)経営状況	27年度決算 歳入 617,374,153円 歳出 547,768,187円 収支差額 69,605,966円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区谷中7-18-10					
(2)設置目的	台東区名誉区民であり、日本彫塑界最高峰を極めた朝倉文夫の彫塑芸術作品を気軽に鑑賞できるようにすることで、親しみと理解を深め、芸術文化の向上に寄与するとともに、区民文化の振興を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	保存修復工事完了に伴い平成25年10月29日よりリニューアルオープン 開館日：休館日（月曜日/木曜日/12月29日～1月3日/特別整理期間）を除く、開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）					
(5)規模	延べ床面積 1,085.02㎡ RC造（アトリエ） 木造瓦葺（住居） 地上3階 地下1階 屋上/ポンプ室、機械室、事務室、アトリエ、住居等（公開部分 洋室、和2室）、展示室、収蔵庫（RC造）、庭園など					
(6)人員体制	10名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）再任用（1）再雇用（1） 研究員（1）専門員（1）区政嘱託員（1）特例嘱託員（3）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	彫刻、彫塑像等の美術作品の収集、保管、展示。朝倉文夫に関する資料の展示。彫塑等に関する調査及び研究。施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓・その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。					
(2)自主事業	特別事業「朝倉彫塑館80年 我家吾家物譚展」（講演会、ギャラリートーク、昇降台稼働）、ギャラリートーク、キッズサポーター、バックヤードツアー、特集展示「朝倉文夫コレクション『千代鶴是秀』『根付』」「時代を創った人物『1』『2』」					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	9,246,000	8,948,000	31,390,000	35,943,000	30,174,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	9,246,000	8,948,000	31,390,000	35,943,000	30,174,000
決算	委託料	8,508,025	8,159,401	26,606,629	26,357,583	26,355,346
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	8,508,025	8,159,401	26,606,629	26,357,583	26,355,346
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
開館日数	日	休館中	107	229	253	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
入館者数	人	45,000	22,709	47,189	43,894	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

特別展期間中には特別展のテーマに沿った講演会の開催、アトリエの昇降台を実際に稼働させるなど、更なる魅力の発信に努めた。また、新たな来館者サービスとして開始した、年間パスポートの売上や半券割引サービスの利用も好調だった。さらに名勝である庭園をはじめとした施設の維持管理についてもきめ細かく対応がなされた。

8. 評価項目
 3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。
 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[3]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数等の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	特別展のテーマに沿い「建物編」「庭園編」とした2度の講演会や展示のポイントを解説するギャラリートークの実施、アトリエの昇降台を実際に稼働させるなど、更なる魅力の発信に努めた。
(2)施設の維持管理	A	登録有形文化財である施設の補修はもとより、名勝である庭園管理についても、細やかに区への連絡及び報告が入っている。また、収蔵品の補修・鋳造についても計画的に執行できるよう、区に計画書の提出を行っている。
(3)利用者の満足度	A	学芸員によるギャラリートークの他、学芸員・専門員の作成した建物および作品の解説書・解説キャプションを随時充実させており、来館者サービスの向上に積極的に取り組んでいる。
(4)収入支出	A	契約差金による予算の残額が出たが、適正に予算の執行がなされている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	リニューアルオープン当初に比べ、入館者数は落ちついたものの、特別展のテーマに沿った講演会の開催、新たな試みを実施した特別展では前年を上回る来館者を集めた。また、施設整備や収蔵品等の維持管理も適切に対応している。
-----------	---

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

引き続き、名勝・登録有形文化財である館の施設整備や収蔵品等の維持管理を適切に行っていく。また、開館50周年を記念した特別展の開催も今後予定されており、谷中地区の欠かせない観光スポットとして更なる魅力ある企画展示の実施、効果的なPRに努めていく。